

YMFG NEWS RELEASE

2022年2月4日

各 位

株式会社山口フィナンシャルグループ

一部報道機関関係者への通知について

当社から株式会社データ・マックス関係者に書面を送付し、株式会社データ・マックスへの正確な報道実施の周知徹底に関して申し入れを行っております。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

山口フィナンシャルグループ 総合企画部 広報室

担当：松田

TEL：083-223-3447

そして、■■■■様は当社 OB であり、かつ、当社株主という立場でもあることから、同社の【特別取材班】に特に影響力を有し、情報提供等もされていると見えることは否定できないことです。

ところで、当社は、同社に対し、2021 年 11 月 16 日付「通知書」（別添ご参照）を送付し、当社宛に取材申込があった場合、可能な限りの対応を行うことから、当社宛の直接取材に基づく報道を依頼しております。しかしながら、同社からはその後も当社に対する事前の確認や取材がないまま、「関係者」等からの情報提供や伝聞のみに基づいた複数の記事が配信されている状況が継続し、当社のステークホルダーの皆様にかかる誤った認識を与えることになっています。

このような状況は、■■■■様がおっしゃる「山口フィナンシャルグループが良くなって欲しい」という観点と矛盾するものと言わざるを得ません。少なくとも、同社の記事は、当社に関する信頼や信用を毀損する結果となっていますし、■■■■様記事も■■■■様ご自身の憶測に基づいた内容で、当社の信用を毀損するものと言わざるを得ません。

また、それ以前に同社は、■■■■様記事とは異なる 2022 年 2 月 1 日付け「山口 FG の『通知書』の嘘に対するデータ・マックスの反論」と題する記事においても、当社からの事前の確認や取材の「お願い」を、表現物や言論を精査し、不相当と判断したものを取り締まる行為を指す「検閲」と記述しています。もとより、当社は同社の記事内容を精査し、また、取り締まることなどは不可能であるところ、同社においては、このように当社からの「お願い」を「検閲」と表現するように、誤った言葉遣いが許容される編集体制で記事が作成されていると思わざるを得ません。

もっとも、■■■■様が同社の「顧問」というお立場にあることを見込みまして、■■■■様におかれまして、【特別取材班】において事実関係に基づく情報を前提として、実際の編集作業においても正確な言葉遣いを促し、また、当社にかかる憶測記事を出すことがないよう、同社の編集体制において周知徹底いただけないでしょうか。

同社において、誤った言葉遣いを許容しながら当社にかかる憶測記事が頻出していることは、報道機関としての同社に対する読者からの信用をも失わせかねないとも思われますが、【特別取材班】において事実関係に基づく情報を前提とした記事を出すことで、こうした同社に対する読者からの信用毀損の状態を抑制することもできるかと思えます。このような役割は、同社の顧問というお立場において、■■■■様が果たされるべき役割であると認識しております。

この当社からのご提案は、■■■■様がおっしゃる当社をより良くしたいというお気持ちにも沿うものと確信しておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

以 上